

有病者の歯科治療について（その2）

近年、平均寿命が延び、高齢の方が歯科を受診する機会が増えてきています。また、いわゆる「生活習慣病」やその他の病気を有する方もたくさんいらっしゃいます。そのような方が歯科受診時に注意しなければならないことを挙げてみます。

6：糖尿病

- (1) 内科でどのような治療を受けているか、教えてください。（食事療法、内服、インシュリンなど）
- (2) 血糖値のコントロール状態を教えてください。
- (3) 麻酔をすると、しばらく食事ができません。低血糖をおこさないように注意してください。（空腹時を避ける、ジュース、あめ等で糖分を取るなど）
- (4) 健康な人にくらべて感染しやすいです。抜歯や切開処置などをうけたら、処方された薬は、必ず全て内服してください。

7：喘息

- (1) 不安等の心理的因子や気道を刺激するような匂いで、治療中に発作を起す可能性があります。念のため、吸入薬は、忘れずに持参してください。また、喘息発作を頻回に起している時期には治療は避けたほうがよいかもしれません。
- (2) アスピリン喘息の方は、歯科で投与する鎮痛剤で発作を起すことがあります。アスピリン、バファリン、ポンタール、ボルタレン、インダシン等の鎮痛剤は避けてください。
- (3) 治療期間中は、内服薬を忘れずに服用してください。ステロイド剤を服用されている方は、特に忘れないようにしてください。

8：肝炎

- (1) B型、C型肝炎の方は教えて下さい。肝炎ウイルス感染の予防対策が必要です。
- (2) 肝機能が悪化していると、出血が止まりにくいときがあります。

9：慢性関節リウマチ

- (1) ステロイド(副腎皮質ホルモン)が投与されていることがあります。長期にわたり服用していると、自分自身の副腎機能が低下し、ストレスに対して抵抗性が弱くなります。薬の種類と服用量を教えてください。
- (2) また、ステロイドには「免疫抑制作用」もあり、感染しやすくなりますので、抜歯や切開処置などをうけたら、処方された薬は、必ず全て内服してください。

10：アレルギー

- (1) 薬でアレルギーのある方は、その薬の名前を教えてください。
- (2) 手袋などに使用されるラテックスや消毒薬のイソジンにアレルギーのある方は申し出てください。

11：透析

- (1) 透析のスケジュールを教えてください。透析当日は止血しにくいことがあります。
- (2) 感染をきたしやすいので、抜歯や切開処置などをうけたら、処方された薬は、必ず全て内服してください。

12：妊産婦

- (1) 歯の痛みや歯肉の腫れなどの急性症状があるときには、妊娠中のどの時期でも処置をする必要があります。しかし、妊娠中の治療は出来れば妊娠15週から35週の時期に行うことが勧められます。
- (2) 薬を服用したり、レントゲンを取る場合もあります。これについては、妊娠中も比較的安全に使用できるとされている薬がありますし、レントゲンに関しても歯科のレントゲンの放射線量はきわめて少ないとされています。また、局所麻酔もその使用量が少ないのでまず問題ありません。むしろ、使用しないで強い痛みを感じるほうがストレスとなります。

以上、代表的な病気を挙げてみましたが、この他にも注意しなければならない病気があります。病気をお持ちの方は主治医にご相談ください。